



鬼怒川小の松風

平成26年2月21日

第6号

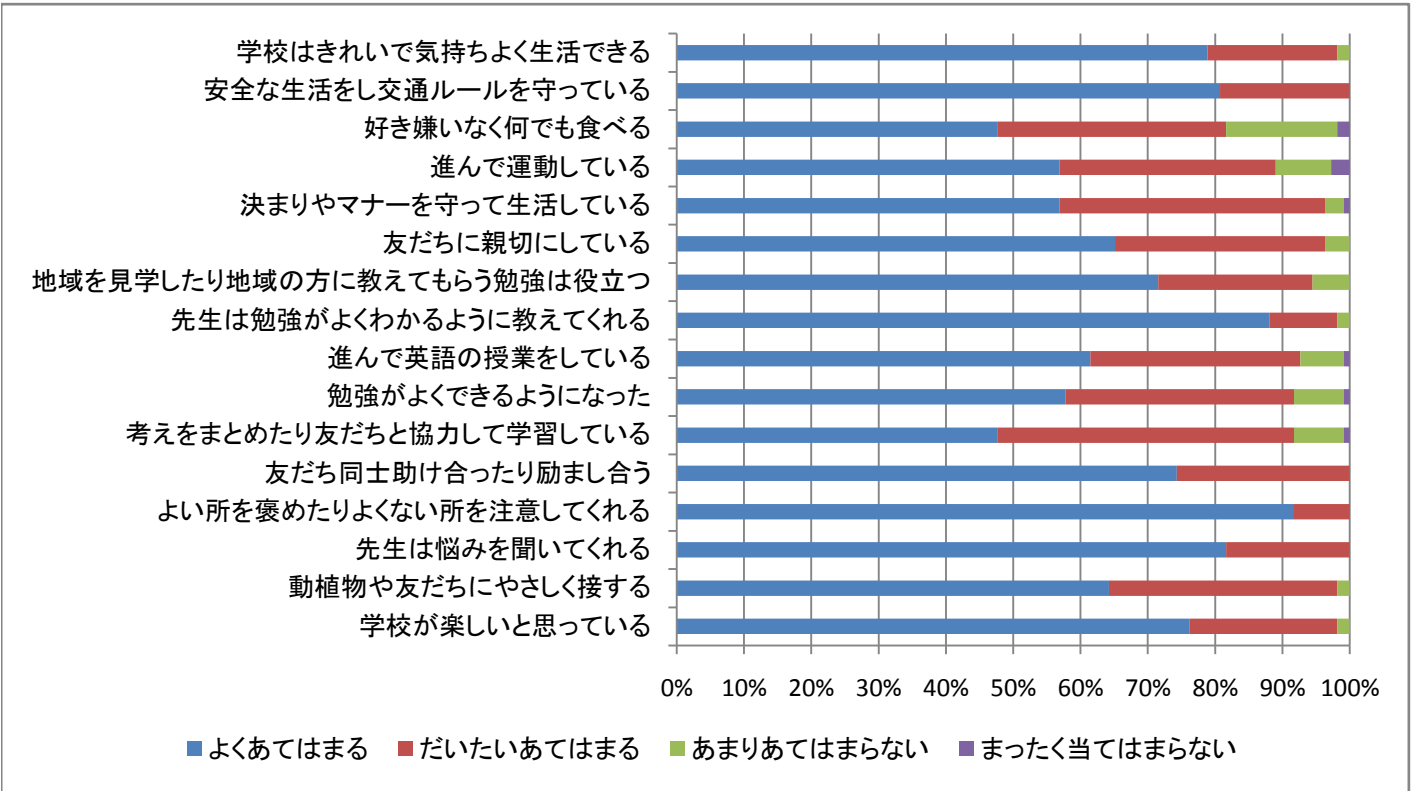
日光市立鬼怒川小学校長 武田 朋典

学校教育アンケート集計結果一覧

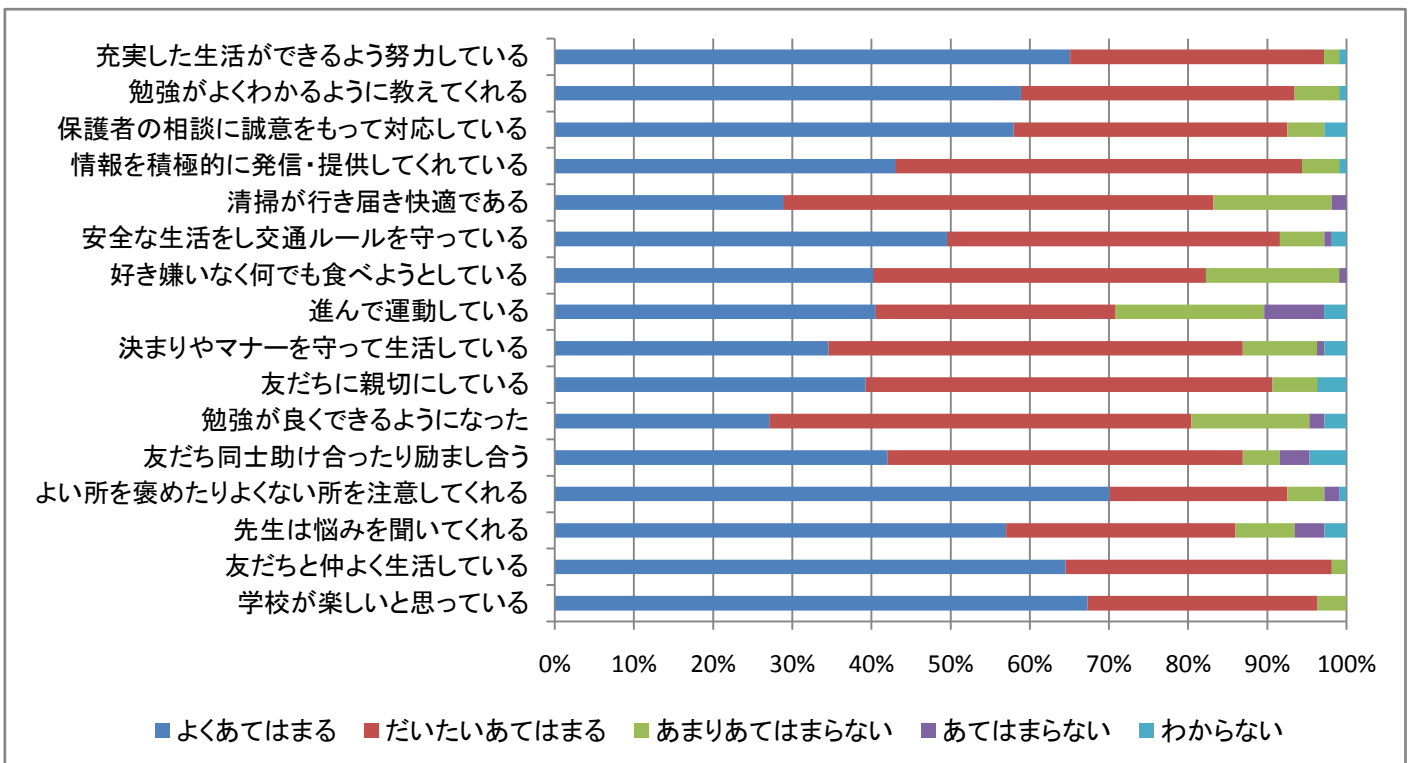


先頃、皆様にご協力いただいた学校教育アンケートですが、集計が済みましたのでお知らせいたします。どうもありがとうございました。今後の学校経営に生かし、より良い学校づくりに取り組んでまいりますので、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

児童集計結果



保護者集計結果



考 察

学習面

- 「授業はわかりやすい」に対して、96%の児童が「よくわかる」との回答であった。この結果を励みに、さらに研修を重ねわかる授業の実施に取り組んでいきます。
- 「考えをまとめたり友だちと協力して学習している」に対して、92%の児童が肯定的な回答をしている。まず自分の考えを明確にもち、その上で友だちとの磨き合いをとおしてより良い考えに至る。そのような授業を積極的に行い、考える力を高めるよう努めます。
- 「勉強がよくできるようになった」に対して、肯定的な回答は、児童92%・保護者80%と捉え方に違いが見られる。日常の学習の様子を詳しく発信することで児童の努力や小さな変容にも気づいてもらうように努めます。

生活面

- 「学校が楽しい」に対して、児童98%・保護者96%とうれしい結果を得ることができました。一人ひとりに居がいのある学級をつくり、学校ががんばりがいのある場であるように努めていきます。
- 「友だち同士助け合ったり励まし合ったりしている」100%、「友だちに親切にしていますか」96%と良い回答が得られたことはうれしいことだが、常に円滑な人間関係であるように道徳の時間を利用して相手の気持ちを考えたり、普段の生活の中で協力して進める場面を意図的に設けたりして、よい人間関係の醸成に努めます。
- 「決まりやマナーを守っていますか」に対して、児童96%、保護者87%が守っていると回答した。規範意識は高いので、いつでもどこでもだれに対しても決まりやマナーが守れ、実践できるよう指導していきます。

健康・体力面

- 「安全な生活をし交通ルールを守っていますか」児童100%が安全に生活していると答えている。自分の命は自分で守る大切さと方法を身につけさせるよう、交通教室や登校指導等、日々の生活の中でも指導していきます。ご家庭でも話題としていただき安全な生活ができるようご協力をお願いします。
- 「進んで運動していますか」に対し、児童89%・保護者71%が肯定的回答であった。健康な生活を営む上で運動は欠かせないものです。体育の時間を工夫して運動量を確保したり、休み時間などに外遊びを奨励し、運動に親しむ習慣を身につけて体力向上が図れるように努めます。
- 「好き嫌いをなく何でも食べますか」に対して、児童・保護者ともに82%であった。食事と健康な体との関係を給食や食に関する指導で実施します。ご家庭でもバランスよく食べる大切さを話題にいただき家庭と連携して好き嫌いのない児童を育てたいと思います。

その他

- 「先生は悩みを聞いてくれる」「よい所を褒めたり良くないところを注意たりしてくれる」に対しては、双方とも100%の肯定的な回答を得ることができた。教育は信頼関係のうえに成り立つので、私たちにとってうれしい限りです。今後とも、信頼関係が継続し強固になるように一人ひとりの児童を大切に学級経営に努めます。
- 「教職員は保護者に対して誠意をもって対応している」に対して、94%の保護者が対応していると回答していただきました。今後とも、保護者の皆様と手を携え、児童の成長を図っていきますのでよろしくお願い申し上げます。



学校関係者評価の意見(学校評議員、PTA正副会長、校長、教頭、教務主任)

- 学校生活については児童・保護者とも概ね満足との回答になっている。しかし、少数ながら肯定的でない回答もあるので、このような存在にも気を配った丁寧な学校経営を心がけてほしい。
- 学力向上に取り組むことはよいことで、社会の要請にも合致している。ただ、小学校段階では学ぶ楽しさを十分に味わわせることで自分から進んで学習に取り組む児童を育ててほしい。また、努力を積み重ねるとよい方向へ変わっていくことも体験させてほしい。
- 周囲の雰囲気にならなれど、しっかりした判断力と実践力を備えた児童の育成に努めてほしい。

平成26年度へ向けて

- 今回のアンケート結果を謙虚に受け止め、児童にとってより良い学校づくりに努めます。
 - 児童にとりわかりやすい授業が行われるように、一人ひとりの教師が授業の力を向上させる研修に取り組み学力の向上や学ぶ楽しさが味わえるような授業の実現に努めます。
 - 6年生を中心にみんなで作り上げる学校行事を目標に掲げ、協力や責任を果たすことのよさを味わえるように工夫します。
 - 児童同士のふれあいを多くし、他を思いやる気持ちを育てます。そのために、様々な学年がひとつになった班を編制し、遊びや活動を多く取り入れます。
 - 学校の主役は児童です。それを支える保護者の皆様、地域の方々がいらっしゃいます。多くの方々の力をいただけるように、校長として学校の様子や児童のがんばり教職員の工夫や取り組みを発信していきます。
- 引き続き本校教育活動へのご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。

